

天王森泉公園 生き物調査と自然観察会 6月

2021.6.1 (火) 晴れ
参加者 11人 9:00-15:00

前日の雨で公園周りは一しっとりとし、木々も草花も生き生きとしています。

コースは 野の花苑一見晴らしの丘一くわくわ森一森南側道路一森西側側溝一侯野遊水地一下飯田遊水地

野の花苑 鮮やかな色の花が目立つ野の花苑です



京鹿の子キョウカノコ



岩絡みイワガラミ



蛍袋ホタルブクロ



旗竿桔梗ハタザオキキョウ



駒繁ぎコマツナギ



梅桃ユスラウメ



紫露草ムラサキツユクサ



九蓋草クガイソウ



メドーセージ



黄釣船キツリフネ



島山吹舟シヤママブキショウマ



山紫陽花ヤマアジサイ



八重葎草ヤエドクダミ



大半夏オオハンゲ



岡虎の尾オカトラノオ



真勿忘草シンウスレナグサ



虫に食べられたワサビの葉



葉に卵を産み付ける
スジグロシロチョウ



緑〜スジグロシロチョウ
黒〜カブラハバチ 幼虫

今年はワサビの葉が早々と茎だけになっています。犯人は左の幼虫たちです。ホタルがいるので殺虫剤は使わず手作業で幼虫採りをしますが、ワンサカ採れます。たくさん卵を産み、羽化を何回も繰り返すのでたまりません!!

井天坂～見晴らしの丘



独取り茨サルトリイバラ



白山吹シロヤマブキ



真弓マユミ



杏アズ



エゴノキ



昼顔ヒルガオ



赤花夕化粧の白花外



野蒜ノビル
花を見るのは珍しい



掬花
ネジバナ
芝生の中
にある中
菌類を栄
養として
ネジバナ
は成長し
まじす



くわくわ森



額紫陽花ガクアジサイ



接骨木ニワトコ



紫式部ムラサキシキブ



夏毒草ハエドクソウ
昔はハエ取り紙の原料



馬の三ツ葉
ウマノミツバ



浦島草ウラシマソウ
の実



山百合ヤマユリ



夏菜英ナツグミの実に
かじりつくシロテンハナムグリ



赤芽柏アカメガシワ



ビワの実が美味しいです

くわくわ森西側側溝



溝酸漿ミソホオズキ



姫椿ヒメコウゾ もうすぐ赤くなる



紫陽花アジサイ まだ色づかない



蛭袋ホタルブクロ



天王森泉公園の田んぼには水が張られ、田植えを待つばかりです。

6月5日にはボランティアの家族が来て田植えは終了しました。

保育園や幼稚園から田植えの申し込みがあったのですが、コロナの心配もあり今年も田植え体験は中止でした。

来年こそは楽しみたいです！

俣野遊水地



郷麻ゴウソ 日本のスゲ



小判草コバンソウ外ヨーロッパ原産



メリケンカヤツリ外熱帯アメリカ原産

下飯田遊水地



水金梅ミズキンバイ

太陽が十分当たる場所で、違って生育するため、草丈の高い植物があると負けてしまう



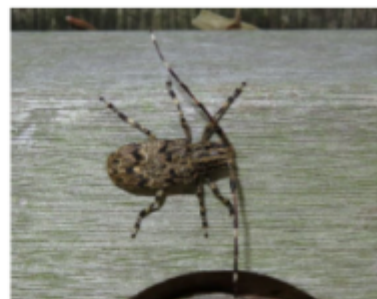


ヒメヒゲナガカミキリ

ヒゲ(触覚)が長いので全身を表示するとこんなに小さくなってしまふ



ヒメヒゲナガカミキリ



ナガゴマフカミキリ



ベニカミキリ



シラハタリンゴカミキリ

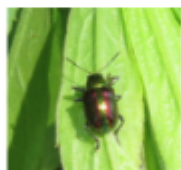
ニセリンゴカミキリから分かれて東日本のものはこの種名に変わりました



キマワリ



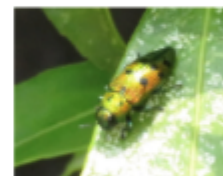
ジョウカイボン



アカガネサルハムシ



キイロクビナガハムシ



マスダクロホシ
タマムシ



ピロウドコガネ



ヒメジュウジナガカメムシ



キマダラセセリ



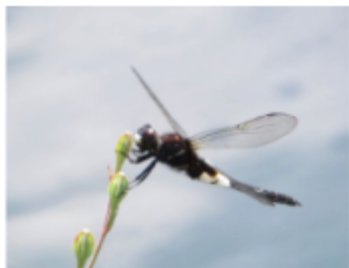
ツバメシジミ



ルリシジミ



ミズイロオナガシジミ



コシアキトンボ(俣野)

天王森泉公園でも観られました
が止まってくれませんでした。



シオカラトンボ



クロイトトンボ(下飯田)



ハシブトガラス

ヤマザクラの太い枝の上でニホン
アマガエルを啜っていました。



ムクドリ

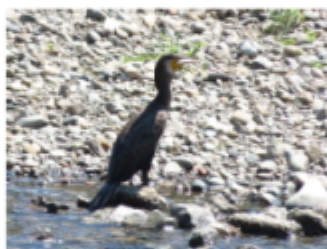
田んぼに水が入り始めると土壌生物
求めてやってきます。



コチドリ



アオサギ(俣野)



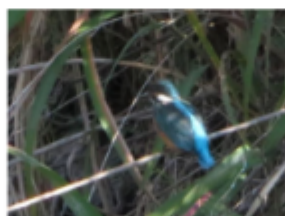
カワウ(境川)



カルガモ(境川)

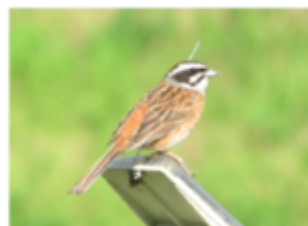


ホオジロ(下飯田)



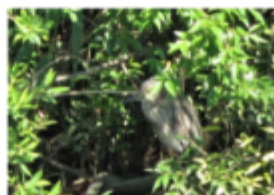
カワセミ

6羽観られました。雌が巣
立ったようです。

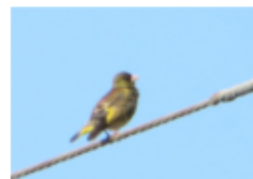


ホオジロ

4ヶ所で観られました。



ゴイサギ幼鳥(下飯田)→



カワラヒワ